
第 29 回 ロサンゼルス交歓高校生派遣事業 報告書

The 29th Los Angeles High School Student Exchange Program Report



平成 30 年 7 月 23 日～8 月 7 日
July 23 - August 7, 2018

名古屋市観光文化交流局観光交流部国際交流課

International Relations Division, Tourism & Exchange Department,
Bureau of Tourism, Culture & Exchange, City of Nagoya

目次 Contents

■ 第 29 回ロサンゼルス交歓高校生派遣事業について	2
The 29th Los Angeles High School Student Exchange Program	
■ 第 29 回ロサンゼルス交歓高校生・引率者	3
The 29th Los Angeles High School Exchange Students and Chaperone	
■ ホストファミリーと交歓高校生との組み合わせ	4
Host Families and Exchange Students	
■ 滞在日程 Itinerary	5
■ 事前研修会 Orientation	7
■ 名古屋市役所表敬訪問 Official Visit to Nagoya City Hall	8
■ 帰国報告会 Closing Meeting	9
■ 自主研究テーマについて Research Topics :	
➤ 大野 舞夕 (名古屋市立名東高等学校 1 年)	10
Ms. Mayu Ono / Nagoya City Meito Senior High School 1st year	
“Differences in study styles between USA and Japan”	
➤ 鬼頭 直也 (国立名古屋大学教育学部附属高等学校 2 年)	20
Mr. Naoya Kito / Nagoya University Affiliated Upper Secondary School 2nd year	
『なぜアメリカの高校スポーツは強いのか』	
(Why are American high schools so strong in sports)	
➤ 高木 美里 (名古屋市立菊里高等学校 2 年)	27
Ms. Misato Takagi / Nagoya City Kikuzato Senior High School 2nd year	
『アメリカの学生の放課後又は休日の過ごし方について』	
(How American students spend their time after school and on holidays)	
➤ 濱崎 蒼生 (名古屋市立名東高等学校 2 年)	37
Mr. Aoi Hamasaki / Nagoya City Meito Senior High School 2nd year	
『LA と名古屋の高校生の生活の違い』	
(Lifestyle differences between L.A. and Nagoya high school students)	
■ 派遣事業を振り返って Looking back on the exchange program	45
➤ 引率者 森岡 孝子 (名古屋市立向陽高等学校教員)	
Chaperone: Takako Morioka / Nagoya City Koyo High School	
■ 思い出の写真 Photos	51

第 29 回ロサンゼルス交歓高校生派遣事業について

名古屋市はロサンゼルス市と昭和 34 年（1959 年）に姉妹都市提携を結びました。姉妹都市交流の一環として、昭和 35 年（1960 年）から両都市が交互に高校生を派遣し、両都市の友好、親善を深めてきました。

平成 30 年（2018 年）は 7 月 23 日（月）から 8 月 7 日（火）までの 16 日間、名古屋から高校生 4 名と引率教員 1 名を派遣し、ロサンゼルスでのホームステイや現地の学校体験などを通して、市民レベルの交流を深めました。

現地での受入は、ボランティア団体である「ロサンゼルス名古屋姉妹都市委員会（LANSCA）」の協力により実施されました。カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）への通学体験、地元高校生への日本文化紹介、ロサンゼルス市役所への訪問や市内視察などを行うとともに、多くの時間をホストファミリーと過ごしました。この滞在を通じて、派遣高校生たちはロサンゼルス市民に名古屋を紹介するとともに、名古屋市代表としてロサンゼルスの文化を肌で感じてもらいました。

LANSCA とホストファミリーをはじめとする多くの方々のご協力を得て、充実した派遣事業を行うことができました。

The 29th Los Angeles High School Student Exchange Program

The City of Nagoya and the City of Los Angeles entered into a sister city relationship in the year 1959. Thanks to this relationship, a student exchange program was created in the following year (1960). This program consists of exchanging students between schools on an international level in order to further strengthen the relationship between our two cities.

2018, for a little over two weeks (July 23rd to August 7th), four high school students and one teacher visited Los Angeles from Nagoya. While there, they aided in emboldening the interactions between the residents of our two cities through their time during homestays and visits to local high schools.

In addition, the welcome reception for the visitors from Nagoya was coordinated by the Los Angeles volunteer organization LANSCA (Los Angeles-Nagoya Sister City Affiliation). Through their assistance our students were able to: visit UCLA, introduce Japanese culture to local high school students, visit the city, go sightseeing, and spend lots of quality time with their respective host families. Through this program, our exchange students were able to introduce the culture of Nagoya to the people of Los Angeles while also experiencing the culture of Los Angeles first-hand as representatives of Nagoya.

Through the cooperation and help of LANSCA, the host families, and many others, we were able to have a fulfilling and memorable student exchange program this past year.

第 29 回ロサンゼルス交歓高校生・引率者

The 29th Los Angeles High School Exchange Students and Chaperone



大野 舞夕（おおの まゆう）

Ms. Mayu Ono

名古屋市立名東高等学校 1 年

Nagoya City Meito Senior High School 1st year



鬼頭 直也（きとう なおや）

Mr. Naoya Kito

国立名古屋大学教育学部附属高等学校 2 年

Nagoya University Affiliated Upper Secondary School 2nd year



高木 美里（たかぎ みさと）

Ms. Misato Takagi

名古屋市立菊里高等学校 2 年

Nagoya City Kikuzato Senior High School 2nd year



濱崎 蒼生（はまさき あおい）

Mr. Aoi Hamasaki

名古屋市立名東高等学校 2 年

Nagoya City Meito Senior High School 2nd year



引率者：森岡 孝子（もりおか たかこ）

Chaperone: Ms. Takako Morioka

名古屋市立向陽高等学校教員

Teacher, Nagoya City Koyo Senior High School

交歓高校生のホストファミリー

Host Families and Exchange Students

交歓高校生

名古屋		ロサンゼルス	
1	大野 舞夕	Ms. Trinity Custodio	トリニティ・カストディオ
2	鬼頭 直也	Mr. Laurent Chang	ローレント・チャン
3	高木 美里	Ms. Briana Morales	ブリアナ・モラレス
4	濱崎 蒼生	Mr. Yani Martinez	ヤニ・マルティネス

引率者

1	森岡 孝子	Ms. Wendy Monroy	ウェンディ・モンロイ
---	-------	------------------	------------

平成 29 年（2017 年）にロサンゼルスから名古屋を訪れた交歓高校生と引率教員が、ホストファミリーとして受入れを行いました。

平成 31 年（2019 年）には、今回ロサンゼルスに派遣された高校生がホストファミリーとして、ロサンゼルスから来る高校生を受け入れる予定です。

滞在日程

	日付	内容
1	7月23日（月）	名古屋(中部国際空港)14:35発ー成田国際空港 15:50着 (NH340便) 成田国際空港 17:05発ーロサンゼルス国際空港11:25着 (NH6便)
2	7月24日（火）	ホストファミリーとの自由時間
3	7月25日（水）	ハリウッド散策
4	7月26日（木）	高校体験(ヤニ・マルティネスさん引率) NASA JPL(ジェット推進研究所) 見学ツアー
5	7月27日（金）	UCLA通学体験
6	7月28日（土）	UCLA通学体験
7	7月29日（日）	UCLA通学体験 ☆出し物披露
8	7月30日（月）	ホストファミリーとの自由時間
9	7月31日（火）	ロサンゼルス市役所表敬訪問 ※高校の制服着用 ダウンタウン建築見学ツアー
10	8月1日（水）	高校体験(トリニティ・カストディオさん引率) カリフォルニア サイエンス センター訪問
11	8月2日（木）	ユニバーサルスタジオ
12	8月3日（金）	グリフィスパーク天文台訪問
13	8月4日（土）	ホストファミリーとの自由時間
14	8月5日（日）	サヨナラパーティー ☆出し物披露
15	8月6日（月）	ロサンゼルス国際 空港13:10発 (NH5便)
16	8月7日（火）	成田国際空港16:25着 成田国際空港18:25発ー名古屋(中部国際空港)19:40着 (NH339便)



LOS ANGELES NAGOYA SISTER CITY AFFILIATION
(LANSCA)
2018 Schedule of Events



Day	Date	Itinerary
1.	Monday, July 23, 2018	PM: Japanese Student Delegation departs from Nagoya and arrives in Los Angeles
2.	Tuesday, July 24, 2018	Free time with host families
3.	Wednesday, July 25, 2018	AM/PM: Exploring Hollywood
4.	Thursday, July 26, 2018	AM: High School Experience in Huntington Park Student Lead: Yani Martinez PM: National Aeronautics and Space Administration (NASA) Jet Propulsion Laboratory (JPL) Facility Tour
5.	Friday, July 27, 2018	AM/PM: UCLA College Experience "Career and Academic Preparation Academy (CAPA)"
6.	Saturday, July 28, 2018	AM/PM: UCLA College Experience "Career and Academic Preparation Academy (CAPA)"
7.	Sunday, July 29, 2018	AM/PM: UCLA College Experience "Career and Academic Preparation Academy (CAPA)" Nagoya Cultural Performance to Summer Program Participants
8.	Monday, July 30, 2018	Free time with host family
9.	Tuesday, July 31, 2018	AM: City of Los Angeles Official Visit PM: Walking / Architecture Tour through Downtown Los Angeles (DTLA)
10.	Wednesday, August 1, 2018	AM: School Experience at Eagle Rock Student Lead: Trinity PM: Museum Visit, California Science Center
11.	Thursday, August 2, 2018	AM / PM: Universal Studios
12.	Friday, August 3, 2018	PM: Griffith Park Observatory
13.	Saturday, August 4, 2018	Free time with host family
14.	Sunday, August 5, 2018	PM: Farewell Party Los Angeles and Nagoya Students Reflections / Presentations / Cultural Performance
15.	Monday, August 6, 2018	DEPART LA 1:10 PM FLIGHT Nippon Airways (NH 5)
16.	Thursday, August 7, 2018	PM: Japanese Student Delegation Arrival in Nagoya

事前研修会

Orientation

日時：平成 30 年 7 月 8 日（日） 10 時 00 分～15 時 00 分

場所：名古屋国際センター第 2 展示室

（名古屋市中村区那古野一丁目 47-1 名古屋国際センタービル 4 階）

内容：第 1 部 10:00～12:00

- （1）10:00～10:05 あいさつ
- （2）10:05～10:20 派遣生・引率教員自己紹介 （1 人 3 分×5 人）
- （3）10:20～10:40 当事業の趣旨、概要、日程、出発までのスケジュールの説明
- （4）10:40～11:10 旅行手続、海外旅行保険等の説明、ホームステイの心構え、生活上の注意等
- （5）11:15～11:45 前回の派遣生からの助言
- （6）11:45～12:00 質疑応答

<昼休憩 12:00～13:15> ※保護者、前回派遣生は午前中で解散。

第 2 部 13:15～15:00

- （1）13:15～13:30 記念品の配布、割り振り
- （2）13:30～14:30 自主学習テーマ、サヨナラパーティーでの出し物、スピーチ等の役割分担決定
- （3）14:30～15:00 まとめ、質疑応答

名古屋市役所表敬訪問

Official Visit to Nagoya City Hall

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 20 日 (金) 16:00～16:30
- 2 場 所 名古屋市役所本庁舎 5 階 観光文化交流局長室
- 3 対応者 名古屋市観光文化交流局観光交流部長 近藤 善紀
名古屋市観光文化交流局国際交流課長 栞原 英郎
名古屋市教育委員会指導室指導主事 伊藤 正規



帰国報告会

Closing Meeting

- 1 日 時 平成 30 年 8 月 30 日（木）午後 2 時 00 分～2 時 30 分
- 2 場 所 市役所本庁舎 5 階 観光文化交流局長室
- 3 対応者 名古屋市観光文化交流局長 渡邊 正則
名古屋市観光文化交流局観光交流部長 近藤 善紀
名古屋市観光文化交流局国際交流課長 栞原 英郎
名古屋市教育委員会指導室指導主事 伊藤 正規



自主研究テーマについて

Research Topics

Differences in study styles between USA and Japan

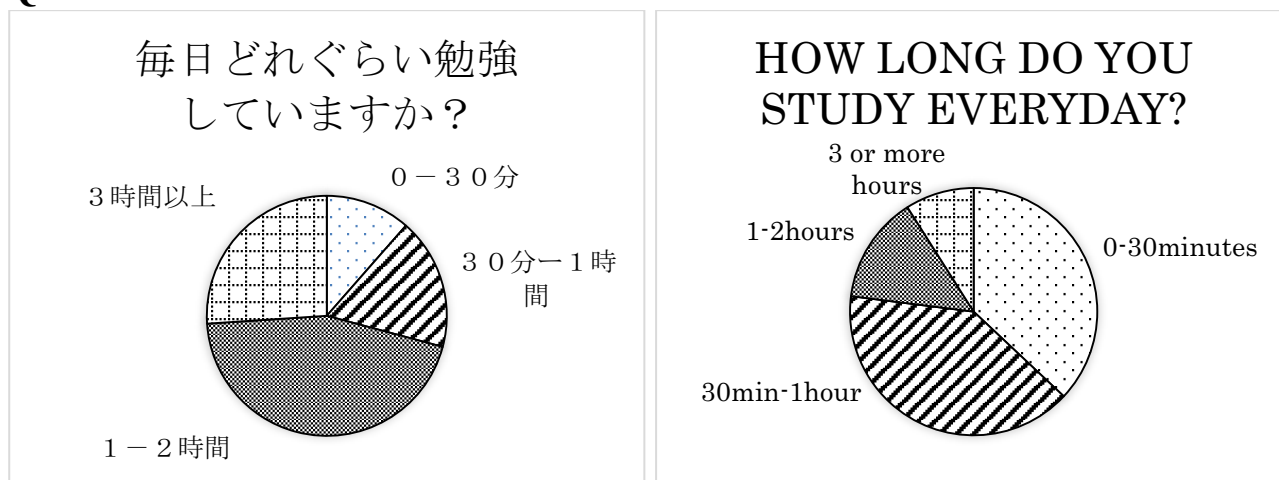
名古屋市立名東高等学校 大野舞夕
交歓高校生 Trinity Custodio

1. はじめに

私はアメリカのオハイオ州に住んでいたことがあります。アメリカの中学に通っていた時にはテスト週間や受験が中学ではないので、放課後に友達と一緒にどこかで勉強したことがありませんでした。日本に本帰国してから、受験のため勉強しないといけなかった時期や、テスト週間の時にフードコート、カフェなどで友達と勉強会をすることが多くなりました。そこで、大学に進学するためにアメリカの高校生はどこで、どのように放課後に勉強したりしているのか、また、アメリカの大学受験ではどのようなことをしていく必要があるのか気になりました。そこで、今回この機会に、アメリカに住んでいる高校生にアンケートを行い、日本の高校生と比較しながら調べました。

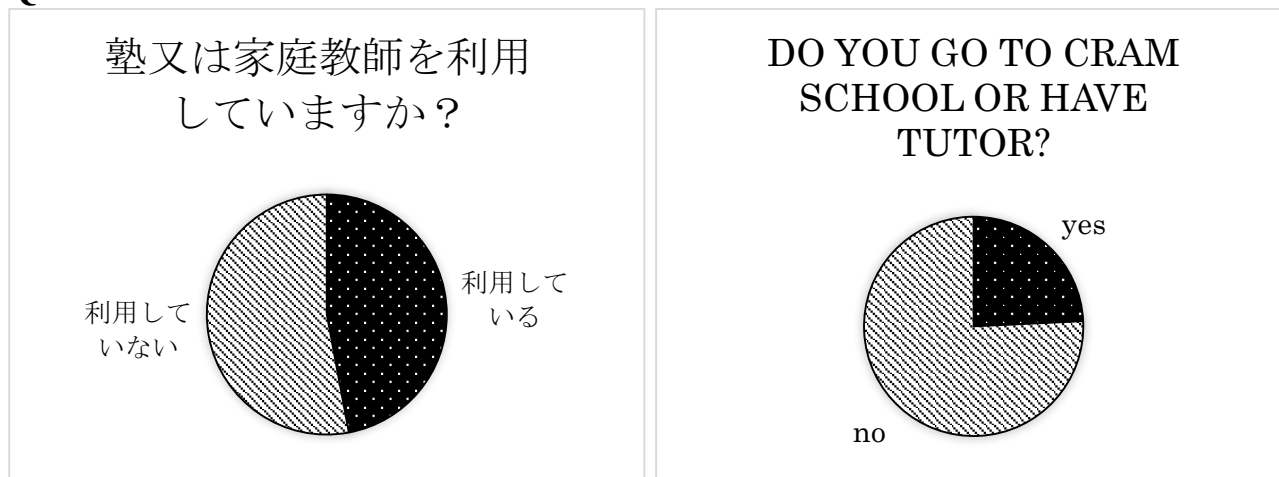
2. アンケート 結果 *日本語＝日本人高校生 英語＝アメリカに住んでいる高校生

Q1



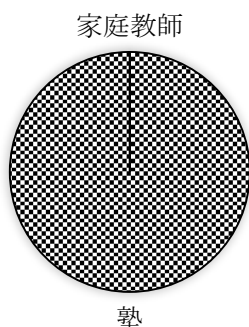
日本の高校生は比較的アメリカに住んでいる高校生より勉強している時間が長い。

Q2

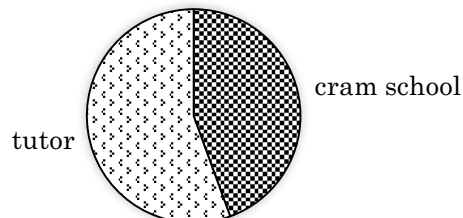


Q3

塾か家庭教師、どちらを利用していますか？



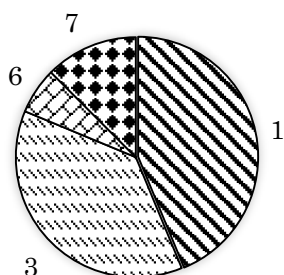
WHICH ARE YOU USING, CRAM SCHOOL OR TUTOR?



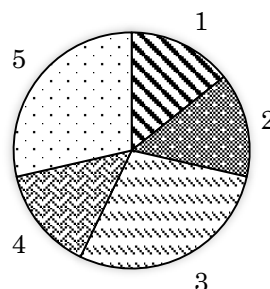
日本では塾が多くあり、家庭教師を利用している人は少ないようだが、アメリカの場合、塾の数が少なく、家庭教師を利用する人が多い。日本で他にも、スタディーアプリを使って勉強している人もいて、アメリカでは **mathnasium** という数学を強化する塾に通っている人やオンラインの家庭教師、説明ビデオを使っている人もいました。

Q4

週に何回塾を利用していますか？



HOW MANY TIMES DO YOU HAVE CRAM SCHOOL/TUTOR PER WEEK?



Q5 志望大学に入るためにどのような勉強、対策をしているか。

日本人高校生

アメリカに住んでいる高校生

模試を受ける	*SAT・ACT の練習 (flashcard も)
オープンキャンパスに参加	クラスで態度良くする
専門的な学科→そのための習い事をする	先生に分からない所を質問する
資格を取る	友達に勉強を教えてもらう
苦手又は必要な教科を特に勉強する	*academic clubs・*service club に入る
定期テスト勉強	Quizlet (オンラインクイズ)
基礎を固める	*NCAA に任せている
センター試験の問題や、過去問を解く	勉強していない・大学に行かない

*Academic clubs: 生徒会みたいなので色んな行事を企画する。ある程度の*GPA が必要。

*Service club: 地域を手伝ったり、ボランティア活動をしたりするクラブ。

*NCAA (National Collegiate Athletic Association): スポーツ推薦で、奨学金を貰いやすくしてくれる組織。

アンケートに協力してくださった日本とロサンゼルスの高校生の皆さん、ありがとうございました！

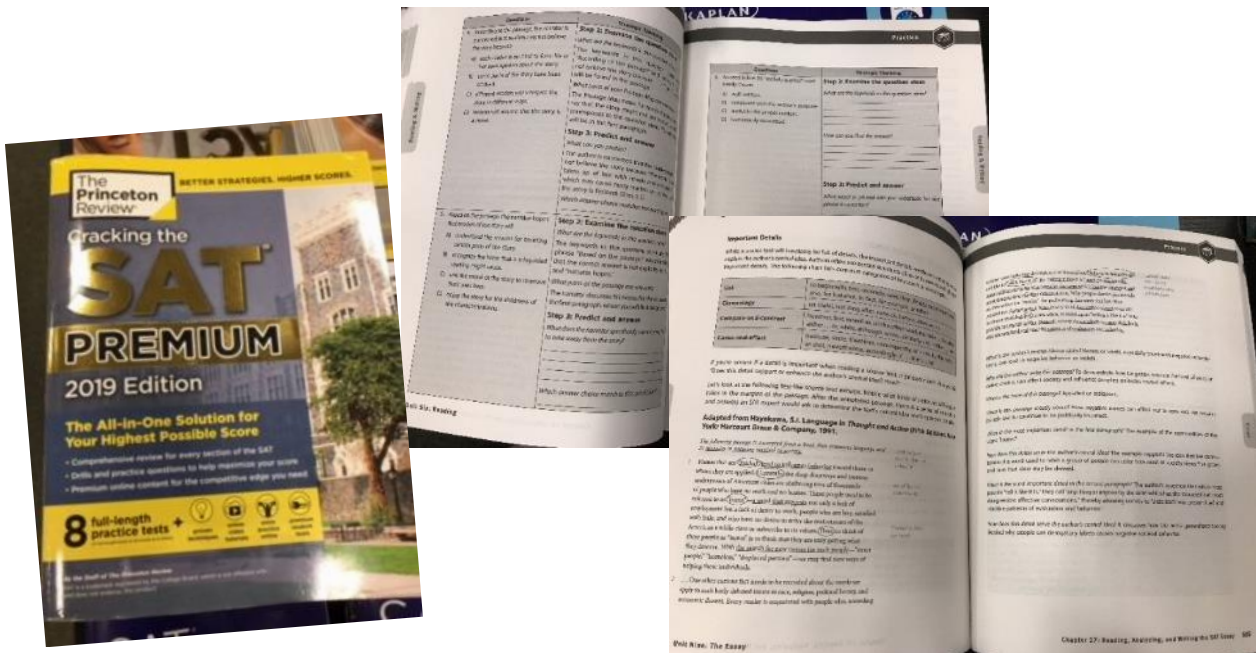
3. アメリカ 大学入試

アメリカの大学入試は、試験をその大学で一斉に受けるのではなく、*GPA や*SAT、*ACT のスコアによって合否が決まる。

*GPA (grade point average)各教科の成績の平均点。全ての授業の成績の点数を足し、その合計点を授業数で割った数。成績で A=4 点、B=3 点、C=2 点、D=1 点、F=0 点とする。

*SAT (scholastic aptitude test):English(reading, writing, essay), math の 2 教科を受ける。

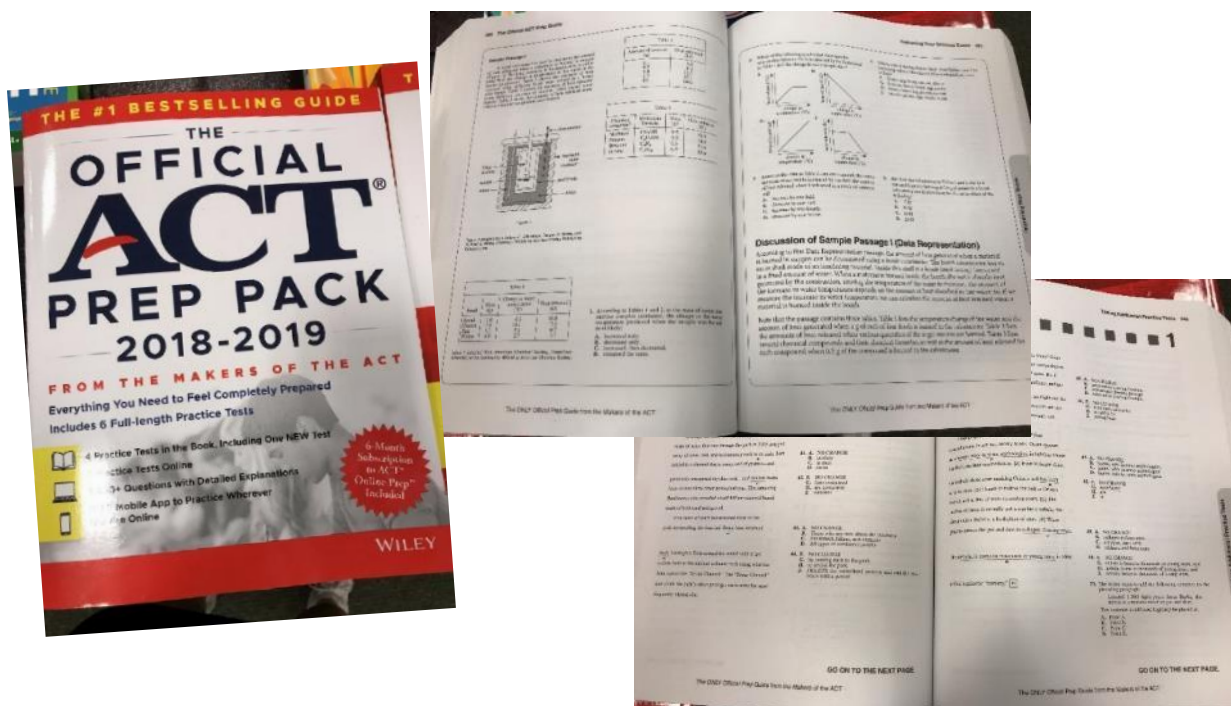
Reading & Writing



Essay

*ACT (American College Testing): math, science, reading, writing の 4 教科を受ける。

Science



Practice Test

他にも、scholarships（スポーツ推薦や、推薦）で先生に大学宛に手紙を書いて受けることもできる。そして、AP(advanced placement)クラスを学校でとっておくと、GPA が A=5 点、B=4 点、C=3 点、D=2 点、F=1 点になるので、大学に受かりやすくなる。AP クラスは大学 1 年生レベルのクラスで、この授業の学年末テストで合格すれば、大学でその授業の分は受けなくても良くなる。学校では、普通、HONORS、AP クラスがあり、AP クラスが一番レベルの高いクラスである。

しかし、チャータースクールという公立の研究開発校はテストを受けなければならない。

4. 放課後の勉強の仕方

放課後にスタバで友達と勉強することはアメリカでも変わりはない。他にも、boba time というタピオカのお店でもよく友達と勉強会をするとホストシスターは言っていた。アメリカでは図書館を利用している高校生は少なく、高校生よりも大学生のほうが多いそうだ。

5. ロサンゼルスでの経験を通して

私は今回の経験を通して、様々なことを学びました。私のホストファミリーは車の移動の中でたくさんアメリカについて話してくださり、私は日本について話しました。話しているときに分からない言葉も時々出てきたので、そのたびにどういう意味なのかを聞いて、新しい英単語を増やす事が出来ました。そして、親がメキシコ、エルサルバドル生まれのロサンゼルス派遣生がいたので、少しだけスペイン語も習うことが出来ました。そして、私たちはロサンゼルス派遣生の 4 人に日本語を少し教えたりしました。そのお互いに習ったスペイン語、日本語をロサンゼルスにいる間、みんなで使って話している時が一番盛り上がり、とても楽しかったです。また、英語、スペイン語、日本語が飛び回っていたので、そのようなところが国際的だなと感じました。

私のホストマザーがフィリピン人でホストマザーのお母さん（ホストシスターの祖母）がフィリピンのホピアというお菓子を作ってくれたのがロサンゼルスで食べたものの中で美味しくて、とても印象に残っています。ホピアというお菓子はお饅頭みたいな形をしていて、外側はパイの様な生地の中にこしあんが入っています。なかなか他の国の手作りお菓子など食べる事が出来ないのもとても良い経験になりました。

正直私は 2 週間半でこんなに 8 人の仲が良くなると思っていませんでした。ほぼ毎日ずっと一緒に過ごし、時々バカみたいなこともして、おなかが痛くなるほど笑い、最後はみんな寂しくて涙を流して。本当に充実した 2 週間半を LANSCA 関係者、交歓派遣生、森岡先生、モンロイ先生と過ごすことができました。



このような機会を与えてくださった LANSCA の関係者、名古屋市国際交流課の皆様、ホストファミリーにとっても感謝しております。来年、ロサンゼルスから交歓派遣生が名古屋に来るときにはたくさん日本の魅力を伝えていきたいです。今回経験したことと来年経験することをこれから色んなところで生かし、将来の夢へ一歩ずつ近づいていきたいです。

Differences in study styles between USA and Japan

Mayu Ono, Nagoya City Meito Senior High School
Trinity Custodio, Homestay high school student

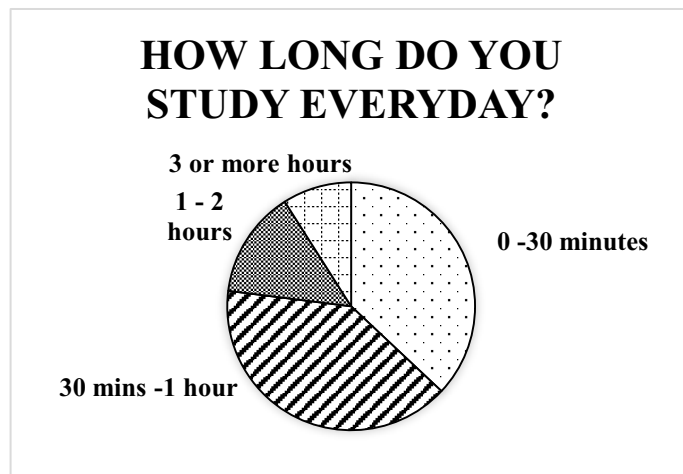
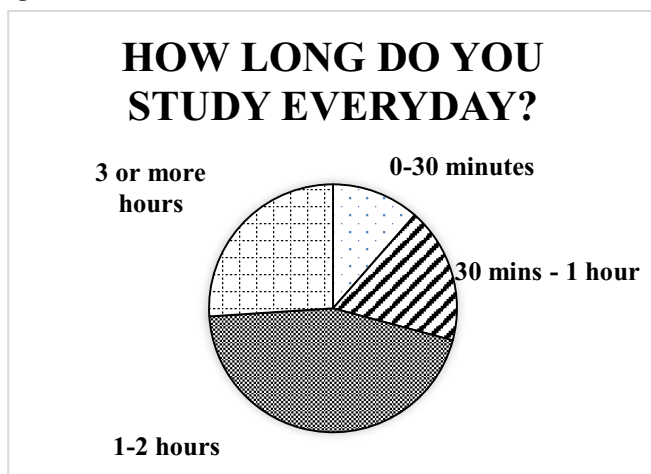
1. Introduction:

I experienced living in the state of Ohio, during my time in America. When I was in junior high school in America, I did not go out to study with my friends after school because there are no scheduled test weeks or exams in American junior high schools. Since I came back to Japan, I often get together to study with my friends at a food court, a cafe, and so on, when we have to study for exams and during test week. Therefore, in order to enter a university, I wondered where and how American high school students studied after school, and what kind of things they need to do to prepare for American university entrance examinations. On this occasion, I conducted a survey for high school students living in the United States, and compared the results with Japanese high school students and examined the findings.

2. Questionnaire results:

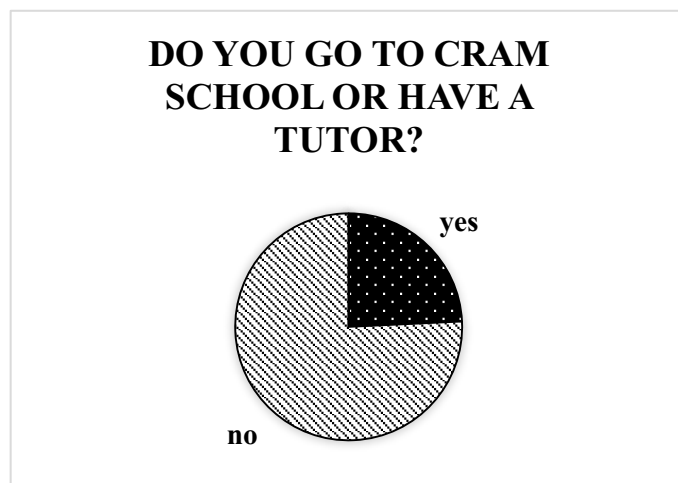
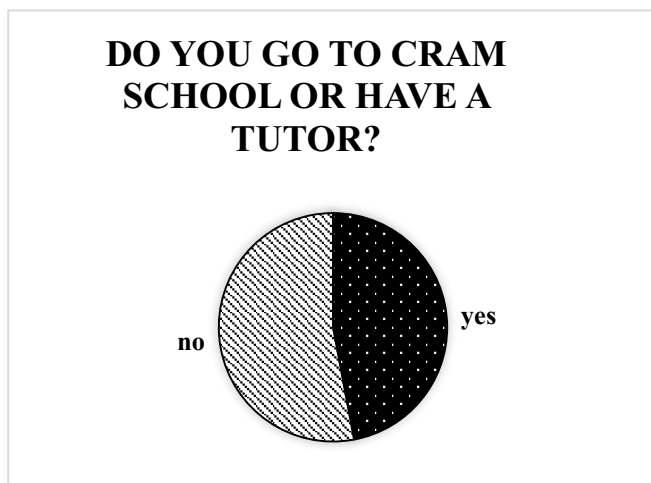
* Left - Japanese high school students / Right - high school students living in the USA

Q1



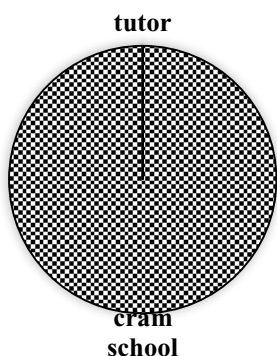
Japanese high school students relatively study more overall compared to high school students who live in the United States.

Q2

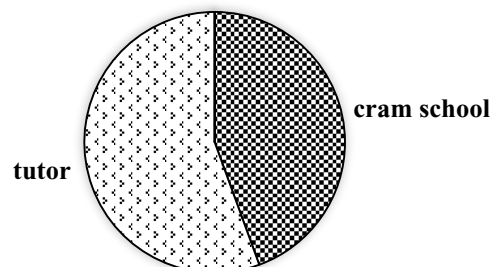


Q3

WHICH DO YOU USE, CRAM SCHOOL OR A TUTOR?



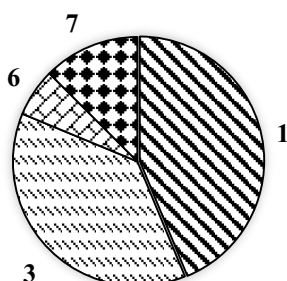
WHICH DO YOU USE, CRAM SCHOOL OR A TUTOR?



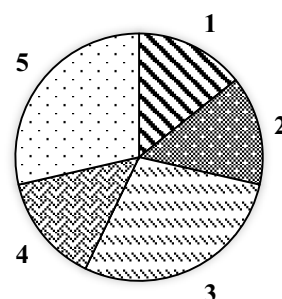
There are a lot of cram schools in Japan, but few students use tutoring. In the case of the USA, there are few cram schools, but more commonly students use tutors. There are also other students in Japan who use study applications for studying. While in the United States, there are students who go to a cram school, called mathnasiums, to strengthen their math skills. Others use an online tutor, and some students use explanatory scholastic videos.

Q4

HOW MANY TIMES DO YOU HAVE CRAM SCHOOL / TUTOR PER WEEK?



HOW MANY TIMES DO YOU HAVE CRAM SCHOOL / TUTOR PER WEEK?



Q5

How do you study and what measures do you take to enter a desired university?

Japanese high school student

High school student living in the USA

Take a trial examination	*SAT / ACT practice (flashcards as well)
Join the various open campuses	Develop good study habits in class
Take part in lessons at a vocational school for specialized subjects	Ask teachers questions when uncertain
Try to obtain a qualification	Have a friend help with studying
Focus on studying the subjects one is particularly bad at	Enter *academic clubs / *service clubs
Study for periodic regular tests	Quizlet (Online quiz)
Try to solidify the foundation of basic subjects	Rely on *NCAA
Try to solve / review the questions of the Center Test and past exam questions	Have not studied / Not planning to go to university

*Academic club: Planning various events with groups like student councils. A certain level of *GPA is necessary.

*Service club: A club that performs community service and/or conducts volunteer activities.

*NCAA (National Collegiate Athletic Association): An organization that make sports recommendations easier to receive scholarships.

Thank you very much to all the high school students in Japan and Los Angeles who cooperated with the questionnaire!

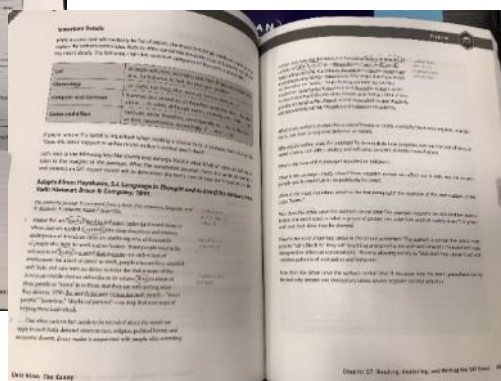
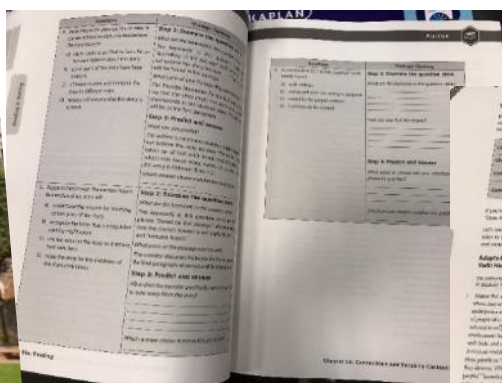
American University entrance examination:

In the United States, acceptance or rejection depends on the scores of *GPA, *SAT, and/or *ACT, not on the university entrance examinations like the ones held in Japanese universities.

*GPA (grade point average): The average score of each subject's achievement. The score is calculated by adding the scores of all classes and dividing the total score by the number of classes. It is based on a scale of A = 4 points, B = 3 points, C = 2 points, D = 1 point, and F = 0 point.

*SAT (scholastic aptitude test): Based on two subjects which are English (reading, writing and essay) and math.

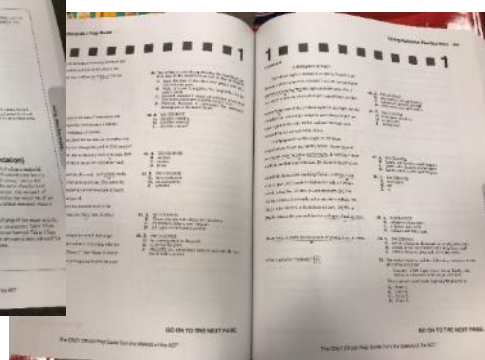
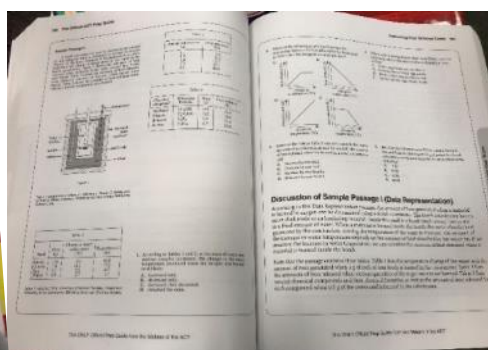
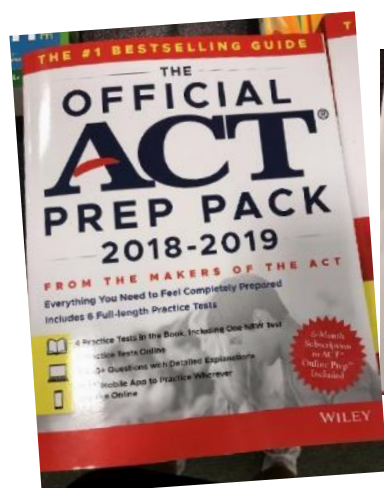
Reading & Writing



Essay

*ACT (American College Testing): Based on four subjects which are math, science, reading and writing.

Science



Practice Test

In addition, students can request their teachers to write letters of recommendation to the universities for scholarships (sports recommendation or scholastic recommendation), and then apply to those universities. Students can also take the AP (advanced placement) classes at school in which the GPA scale becomes A = 5 points, B = 4 points, C = 3 points, D = 2 points, and F = 1 point, so it becomes easier for universities to accept such students. The AP class is equivalent to a university first grade level class. If students can pass this class' final examination, they will not have to take the first grade lessons upon entering the university. At most schools, there are usually regular, HONORS, and AP classes. AP classes are the highest level.

However, there are also public R & D schools called charter schools, and students must take tests at these schools.

3. How to study after school:

Studying with friends in Starbucks after school is also very popular in the United States. Besides that, my host sister said she often studies with her friends in a tapioca shop called Boba Time. In the United States it is not so common for high school students to study in the library, however, when it comes to college students, studying in the library is much more common.

4. Los Angeles experience review:

I learned a lot through my experience in Los Angeles. While driving in their car, my host family talked a lot about America and I talked about Japan. When we were talking, I couldn't understand some words from time to time, but after I asked about the meanings of those words, I was able to increase my English vocabulary little by little. Just as well, since some of the homestay parents were born in Mexico and also others were born in El Salvador, I could learn a little Spanish too. On top of that, we got to teach those four students in Los Angeles a little bit of Japanese. It was the most exciting time and a lot of fun for us when we were trying to communicate with each other using Spanish and Japanese which we just learned from each other. As we were surrounded with English, Spanish and Japanese all at the same time, I felt that it was some kind of international place we were in.

My host mother was Filipino. Her mother made some delicious Philippine sweets called Hopia. They were so delicious and I'll never forget eating them in Los Angeles. This pastry called Hopia is shaped like a *Manju* (a popular traditional Japanese confection); it is a sweet bean paste wrapped in a dough like pie. It was quite a nice experience for me because I cannot easily eat homemade sweets from other countries like this.

To be honest, I did not think that these eight people would get along during our two and a half weeks together. We were together almost every day, and we sometimes joked around so much over silly things that we would laugh until our stomachs hurt. In the end, everyone was sad and in tears when we had to finish our time together and say goodbye. I was able to spend a really fulfilling two and a half weeks with LANSCA officials, my fellow exchange students, and our teachers, Ms. Morioka and Ms. Monroy.



I am very thankful to the LANSCA officials, everyone from the International Relations Division, the City of Nagoya, and the host family which gave me so many enjoyable opportunities. Next year, I want to share a lot of my country's charming qualities with the homestay students from Los Angeles when they visit Nagoya. I want to make use of what I experienced this time and what I'll experience next year in various places in my life, and I hope to approach my future dreams step by step.

なぜアメリカの高校スポーツは強いのか

国立名古屋大学付属高等学校 鬼頭 直也

私は今回のロサンゼルス研修での研究課題を「なぜアメリカの高校スポーツは強いのか」に設定しました。この課題にした理由は、元々自分アスリート育成の手法に興味があり、スポーツ大国アメリカの高校生達がどのように育成されているのかを調べたいと思ったからです。

研究を行う際、事前に仮説を建てました。それは、アメリカの高校スポーツが強いのは外部のコーチによる科学的根拠に基づいた指導が行われているからではないかということです。仮説を立てた理由として、以前インターネットでアメリカの部活には外部コーチがいる事が多いという記事と、アメリカではスポーツ科学が盛んだという記事を読んだことがあったからです。研究の手法としては、事前のスケジュールで設定されていた高校見学の際に運動部の活動の様子を見たり、ホームステイ先の子に普段の部活動の様子をインタビューしたりすることを想定していました。

では実際にロサンゼルス派遣を通してどのような研究を行い、何を学んだかを紹介します。私は主に2つの調査を行いました。はじめに、私のホームステイ先のローレントに連れて行ってもらった、タフト高校で行った調査について紹介します。私は研修2日目に、ホームステイ先のローレントが通うタフト高校の見学に行きました。

タフト高校は、ロサンゼルスで二番目に生徒数が多い公立校です。生徒数は約2300人で、留学生も300人いる大きな学校です。ローレントはマーチングバンド部に参加しており、私もその練習に参加しました。練習が始まる前に彼はタフト高校にある様々なスポーツ施設を見せてくれました。学校には、アメフト場、バスケットボールコート、野球場に、体育館も3つありスポーツ関連の多種多様かつ広大な施設がそろっていました。特に印象的だったのは、バスケットボールのコートが8面以上あったことです。一面にバスケットボールコートが並ぶ様子を見て、アメリカの高校生の持つスポーツ施設の環境はとても恵まれているなと思いました。

その後私たちはマーチングバンドの練習に参加しました。最初私は見ていただけだったのですが、嬉しいことに一人の生徒が私を練習に参加しようと誘ってくれました。肌の色の違う様々な人たちが練習に参加していたこと、そして私のような突然来た人に対しても練習に誘ってくれる寛容な雰囲気は日本との違いを感じました。

最初、練習を指導していたのは外部のコーチの人でした。彼はリズムの取り方について解説をしていましたが、身振り手振りを交えてとてもわかりやすく説明していたので、英語があまり得意ではない私でも理解できるほどわかりやすかったです。その後の練習は、夏休みということもありマーチング部のOBの方が担当していました。リラックスした雰囲気で軽く練習していると思ったら、かけ声一つで全員が気をつけの姿勢になったりして、行進の練習の統率のとれた様子にメリハリを感じました。私は行進の練習の際最初は正直ついて行くことができませんでした。しかしその様子を見て、一人の生徒が私に隅の方で丁寧に教えてくれました。できない人にもフォローをしてくれる環境は素晴らしいと思いました。



練習が終わった後、ローレントにほかの部活が普段どれくらいの時間練習しているのか聞きました。私は公立校だし、そこまで長時間練習している部活は無いと思っていました。しかしサッカー部は普段から3時から9時まで6時間も練習していると聞き、とても驚きました。タフト高校のサッカー部は地区優勝を何回も経験しているととても強いチームと聞いていましたが、やっぱりハードな練習が強さを生んでいると知りすこし落胆しました。タフト高校から学んだ事をまとめると、恵まれたスポーツ施設、多様性、ハードな練習が強さを生んでいるということでした。

次に、ほかの LA メンバーであるトリニティのお父さんに協力してもらって行ったインタビュー調査について紹介します。LA メンバーのトリニティのお父さんは、コーチとしてアメフトをはじめとした様々な種類の部活の指導をしています。おそらく日本では1人のコーチは1つのスポーツを専門で指導すると思います。だから、トリニティのお父さんが様々なスポーツの指導をしているということを知ったとき衝撃を受け、同時になぜそのようなことができるのか疑問に思いました。11日目、カリフォルニアサイエンスセンターに向かう際たまたま彼の運転する車に同乗させていただきました。そこで私は、彼に疑問に思っていたことを質問しました。

はじめに、なぜ多くの種目の指導ができるのかを聞きました。彼の答えは、高校時代に野球、アメフト、水泳など様々な種目をプレイしていたこと、大学でもアメフトとラグビーの二つをプレイしていたからだということでした。日本では高校3年間を通して1つの種目に取り組み続けるのが普通だと思います。しかし一般的にアメリカの高校生は季節によってプレイする種目が変わります。たとえばアメフトは秋、水泳は春という感じで種目ごとにシーズンが分かれています。彼は、シーズンが分かれている利点について次のように話してくれました。まず、様々なスポーツをすることによって体の多くの部分を使うため、より良い体の使い方を学べたり鍛えたりすることができるということです。また一つの筋肉を使い続けないうえ、怪我をしにくいということでした。ほかにも大人になってコーチとして指導をする際にも、多くの種目を様々な観点から指導できるようになると教えてくれました。優秀なコーチを生む一つの要因なのかなとも思いました。次に指導をする際に大切だと思うことは何かを聞きました。それに対し、根性論などで教えるのではなくきちんとした科学的な根拠に基づいた指導を行うべきだと述べました。実は彼の本業は高校の化学教師です。そして、高校で化学の授業を担当する傍らスポーツ科学のクラスも担当しています。多くの本や論文を通じてスポーツ科学の勉強をしており、コーチとして指導する際にも科学的に指導することを心がけているそうです。実際にアメリカにも、もっとうまくやれというだけでどうすればうまくできるのかを教えてくれないコーチが多くいると教えてくれました。しかしそうした指導では効率が悪く上達しづらいため、科学的根拠が大切なんだと熱く語ってくれました。



アメフトの練習の様子



イーグルロックハイスクールにて

彼へのインタビューを通して学んだことをまとめると、1 つめは種目ごとにシーズンを分けることで多くの部位を使うため、体の使い方を学んだり怪我を防止できるということ、コーチになった際にも様々な視点から多くのスポーツを指導できるということです。2 つめは指導の際には科学的な根拠に基づいた指導が大切だということです。今回のロサンゼルス派遣の期間中に行った、2つの調査で私はなぜアメリカの高校スポーツは強いのかという研究課題に対する多くの答えを学ぶことができました。

仮説でもある外部コーチの存在や施設面などを含めた練習環境の充実。また、日本とは異なる、種目ごとにシーズンが異なり多くのスポーツをプレイすることができるというシステムの存在などです。この中でも特に私は、種目ごとにシーズンが異なり多くのスポーツをプレイすることができるというシステムは日本にも導入するべきではないかと思いました。一番の理由として怪我の防止をすることができるということが挙げられます。

私は高校野球が大好きでよく見るのですが、優秀な選手でも投げすぎで肘を壊し姿を消すという事例が多くあります。しかしもしこのシステムが導入されればそのような事例が減らす事ができると思います。このほかにも外部コーチの導入は、最近問題になっている教師の長時間労働を解決する一つの手段であるとともに、部活動のレベルを上げる事にもつながると思います。

最後になりますがこの研究をここで終わりにすることなく、さらに研究を深め将来日本の高校スポーツを変えていきたいと思っています。

Why are American high schools so strong in sports?

Naoya Kito
Nagoya University Affiliated Upper Secondary School

I decided that my research topic for this Los Angeles Exchange trip would be “Why are American high schools so strong in sports?”

The main reasons for this topic are that I was interested in discovering a method for nurturing an individual’s athletic ability, and I wanted to find out how the United States has been cultivating such strong athletes at the high school level.

While considering my research, I established a hypothesis in advance.

My hypothesis is: American high school sports are strong because they are intertwined with scientific research brought in from coaches hired from outside the school.

The reason for making such a hypothesis is that I read an article on the internet which stated that there are many outsourced coaches in American club activities, and also that American sports often rely on the latest scientific research.

The method I chose for my research was as follows: I planned to observe the school’s various sports club activities while touring the high school as scheduled in advance. Also, I planned to interview the son of the homestay family I stayed with who is also a high school student.

I will share with you what I learned while I was abroad in Los Angeles.

I conducted two main investigations.

First, I will introduce the survey I conducted at Taft High School; which was the high school I attended with my homestay family’s son, Laurent.

On the second day of my time abroad, I went to see Taft High School with Laurent.

Taft High School is the second largest public school in Los Angeles.

Taft is a large high school with 2,300 students of which there are 300 international students.

Laurent is a member of the marching band club, and I was able to participate in their practice.

Before practice started, he showed me the various sports facilities around the campus of Taft High School.

There are three gymnasiums, an American football field, several basketball courts, a baseball field, and a wide variety of sports related facilities on the campus.

Particularly impressive was that there were over eight basketball courts. When I saw those basketball courts lined up side by side, I thought that the sports facilities used by American high school students were very impressive and that they are so lucky.

After that we participated in practicing with the marching band.

At first, I was only observing the practice, but fortunately one of the students invited me to participate.

One difference I noticed from Japan was that there were many members from various races participating together. Also the liberating atmosphere allowed me to join in the practice impromptu. I was very moved by this experience.

In the beginning, an instructor from outside of the school was teaching the practice.

He explained how to play in rhythm, and because he explained with both body and hand gestures, it was very easy to understand even though I could not understand English very well.

The next practice was conducted by the OB (alumni student) of the marching band department, because it was during summer vacation.

I felt the practices were at times mild and easy going, but sometimes they were also very strict and rigorous. With the shouts of the OB, I felt that the practice was truly starting.

Honestly, in the beginning it was difficult to practice marching at such a pace.

As I was struggling to keep up, another student noticed that I was having difficulties and helped me privately in the corner of the gym. I was really impressed that they were willing to help someone who couldn't follow the regiment at all. They were so considerate.



After practicing, I asked Laurent how often and how long other club activities normally practice.

I assumed because it's a public school, the club activities would not practice for such a long time.

However, I was very surprised to hear that the soccer club usually practices for six hours from 3 o'clock to 9 o'clock.

I learned that the Taft High School soccer club is a very strong team which has won the district championship many times. With this understanding, I came to realize that it was hard practice that produced their strength, and not just outsourced coaching.

To sum up what I learned from Taft High School, their strength was derived from having privileged sports facilities, diversity, and rigorous practice.

Next, I will discuss an interview survey I conducted with Trinity's father, who is another homestay member from L.A.

Trinity's father teaches various kinds of club activities, such as American football.

In Japan, I think that usually one coach specializes in teaching one sport.

So, when I learned that Trinity's father was teaching various sports, I was shocked and at the same time I wondered how such a thing could be possible.

On the eleventh day, when we were going to the California Science Center, I happened to be in the car that Trinity's father was driving.

So I asked him what I was wondering during the ride.

First, I asked him how he is able to teach so many different kinds of sports.

He said that he played various sports such as baseball, American football, and swimming during high school, and he also played American football and rugby at his university.

In Japan, I think it is common to only play one sport throughout the three years of high school.

In general, however, American high school students change the events they play depending on the season.

For example, in autumn they play American football, and in spring they participate in swimming.

He talked about the advantage of separating the sports by seasons.

First of all, by using various parts of the body for doing different kinds of sports, people can learn how to use their bodies more proficiently, and can train at the same time.

Also, because they do not continuously use one muscle group, it is more difficult to get injured.

Additionally, now that he is coaching as an adult with so much sports experience, he can guide many activities from various viewpoints.

Therefore, I thought that it might be one factor that leads to creating an excellent coach.

Next, I asked what he thought is important for guiding students as a coach.

He answered that coaches should provide coaching based on a proper scientific basis combined with his/her own experience rather than teaching from gut feeling.

As a matter of fact, Trinity's Father is a chemistry teacher.

He is also in charge of sports science studies besides teaching chemistry classes.

He studies sports science through reading many books and articles and tries to apply his knowledge to his coaching.

During our conversation, he told me that, in the US, there are also many coaches that do not tell their players how to do better. The coaches just tell the players that they are doing better without explaining in detail.

However, he explained that guidance in such a manner is inefficient and difficult to hone the athlete's ability, so he told me that applying scientific theories was important.



American football practice time



At Eagle Rock High School

Now I will summarize what I learned through the interviews with Trinity's father. The first point is to use various parts of one's body by separating sports by season in order to learn how to use your body more efficiently and prevent injuries. With such experiences, if you become a coach, you will be able to teach many sports from various perspectives.

Secondly, coaching based on scientific evidence is important when teaching.

In the two surveys that I conducted during my time abroad in Los Angeles, I was able to acquire a lot of answers in regards to the research topic of why American high schools are so strong in sports.

The practice environment must be sufficient with the inclusion of an outsourced coach, which was part of my original hypothesis, but also must have access to a wide variety of facilities.

Moreover, a notable difference from Japan is the way in which schools offer different sports during different seasons.

Among the various differences, I especially wish that Japan would be able to adopt this kind of seasonal based system.

The primary reason being that you can help prevent athletic injuries.

I love high school baseball and I often watch it, but there are many cases where even excellent players are throwing too hard and they break their elbow and have to retire.

However, if this seasonal system is introduced, I think that such cases can be reduced.

Besides this, the introduction of an outsourced coach is a possible means to solve the excessively long workday teachers face in Japan; a modern social problem. I think that this may lead to raising the level of efficiency of Japanese club activities as well.

Finally, in hopes of being able to continue this research, I would like to further deepen my knowledge and understanding of this study. With that said, I hope to change the future of high school sports in Japan.

アメリカの学生の放課後又は休日の過ごし方について

名古屋市立菊里高等学校 高木 美里
交歓高校生 ブリアナ モレス

1. はじめに

私は毎日当たり前のように、授業が終われば部活に行き、部活が終われば塾に行き…という生活を送っていますが、一体アメリカの学生はどのように放課後又は休日を過ごしているのか気になりました。これを調べることにより、二国間での勉強や部活に対する向き合い方の違いが見えてくると思いました。

2. 放課後の過ごし方について

<部活動>

現地の高校を見学させていただく機会がありました。日本の高校は、引退まで同じ部活動が続けますが、アメリカの高校の部活動は季節によって行うスポーツが異なります。

部活動の種類は日本の高校よりも多く、公立高校でもチアリーディング部があったり、日本では珍しい水球部があったりします。また、任天堂クラブというユニークな部活もあります。そして活動日数や活動時間は、それぞれの部活によって違います。ちなみに、私のホストシスターが通っているアートスクールでは、運動部はフェンシング部しか無いため、彼女はボクシングジムに通っています。



チアリーディングの体験風景

<勉強>

日本の学生は塾に通うことが多いですが、アメリカでは家庭教師を雇うことが多いです。ただし、コリアタウンには塾があります。このことから、塾に通うことはアジアならではの文化だと分かります。

<その他>

アメリカの学校は制服がないことが多く、私のホストシスターの高校も制服はないのですが、学校のTシャツがあります。そのため、日本のように放課後に制服を着てどこかに遊びに行くという光景はあまり見られません。私は、自分が好きな服を着て学校に行けることは羨ましく、良いことだと思いました。でも、アメリカの学生は日本のように学校ごとに決められた制服があることに魅力を感じるそうです。私の高校のセーラー服をホストシスターに見せたところ、「可愛い」と言って羨ましがっていました。



Linda Marquez High School

3. 休日の過ごし方について

街全体の印象として、日本よりカフェが多いです。日本だったら行列ができそうなカフェでも、ロサンゼルスでは並ばずに入れることが多かったです。朝食をカフェで済ませてから待ち合わせをすることが何度かありました。これは、日本ではあまりないことだと思います。普段の余暇の過ごし方は日本とさほど違いはなく、友達とショッピングや食事など同じような過ごし方をしているようです。

特徴的でアメリカならではの興味をもったのは、アメリカは学校内やファミリーで、折に触れてパーティーのような事を頻繁に行っていることです。皆で楽しむパフォーマンスがすごく上手です。今は、内向的な日本も少しずつ取り入れられている様子。特にアメリカの高校で、主に卒業の行事として開かれるフォーマルなダンスパーティー「プロム」は興味深い行事です。

ロサンゼルスでの人気の場所

メルローズという、ロサンゼルスの若い女子たちに人気がある場所に連れて行ってもらう機会がありました。ここは、私の滞在で最も気に入った場所のひとつです。カラフルな街の中には、数多くの洋服店やコスメショップ、カフェなどが並んでいます。街はおしゃれな女の子たちで賑わっていました。日本でいう原宿のようですが、原宿ほど人で溢れかえっている訳ではなく、のんびりできます。また、日本人観光客を何組か見かけました。日本人にも人気があるようです。



メルローズの街のレンタルス

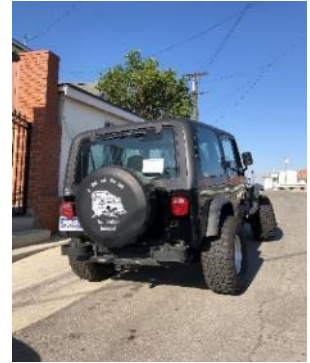


余暇の時間帯について

日本は 23 時以降の子供だけで外出は規制されている、(愛知県青少年保護育成条例) ロサンゼルスでの生活では、特にそのような規制はないようで、比較的夜遅くまで飲食やショッピングをすることがあるようです。お店自体、空いている時間が日本に比べて長いです。

交通の移動手段について

驚いたことに、ホストシスターは運転ができます。すなわち運転免許を取得しています。アメリカでは、運転免許取得可能年齢が16歳以上です。そもそもアメリカは車社会で（そのため毎日のように渋滞）地下鉄やバスは治安の面から危険が多く、そのために移動手段は主に車となります。



ホストシスターの車

高校生でも車を運転しての学校への通学や休日のドライブやショッピングと、車の使用がすでに生活の一部となっています。私もホストシスターの運転する車に同乗させてもらい行動しました。私は、毎日の通学や遊びに行くときは地下鉄やバス公共交通機関を利用しています、同年代で運転ができることには驚き、国の制度の違いを学ぶことができました。

夏休みの **UCLA** のサマースクールに参加して

より良い発表者になるために必要なことを学ぶ講義を受けました。年齢も様々な学生や参加していて下は中学生ぐらいの子供も参加していました。皆自由に意見を交わしたりして、学力より人間性が重要視されるアメリカならではの取り組みであると思いました。

大学進学においても人物評価的なウエイトが多いことから、学校以外での時間をボランティア活動や色々なセミナーに参加することに時間を費やすことがあるようです。

4. まとめ

アメリカは日本に比べて、部活動の種類が多いことから自分がやりたいことを見つけやすそうです。集団で、塾で学習するより、個別にチューターを雇うということも、学びたい人が自分の学びたいことを自分のペースで学んでいると感じました。大学のサマースクールに中学生から参加しているという視点からも、ただ与えられた事を学ぶだけでなく自ら掘り進んでいく自主性を感じました。



日本の学生も自分の将来を早くから見据え広い視野を持つ力を養うため、教科書の上での勉強だけでなく、ボランティアやセミナー等に参加する機会を増やしていく方向性も必要だと感じました。

5. その他の体験



ハリウッド見学



グリフィス天文台



ホストブラザーの高校見学



UCLA 体験入学

6. 全体を通しての感想

アメリカは日本では考えられないことがたくさんあり、驚きの連続でした。派遣を通して、アメリカから日本に取り入れるべきだと思うことがたくさんあった一方で、日本が誇るべきだと思うこともたくさんありました。アメリカは食事回数や食べる量が多く、その分廃棄する量が多いし、日本のようにごみを分別する光景があまり見受けられませんでした。このことから、日本の「もったいない精神」や、分別に力を入れる文化は素晴らしいと思いました。



ロサンゼルスに行く前は、ロサンゼルスは白人が多いと思っていましたが、実際に行ってみると、ラテン系やアジア系の人ほとんどで、テーマパークなどに行かない限り白人はあまり見ませんでした。私のホストファミリーは、エルサルバドルの出身で、エルサルバドルの朝食やお菓子を食べたり、スペイン語の音楽を聴いたりすることができました。正直、ホストファミリーに出会っていなかったら人生でエルサルバドルの文化に触れることはおろか、国名を口に出すことすらなかったかもしれません。このような経験ができたのは、多文化が共生しているロサンゼルスならではの経験だと思います。



エルサルバドルの朝食

最後に

日本でしか生活したことがなかった私が、2週間異国でホームステイをすることは、とても大きな挑戦でした。この派遣に参加することができたのは、支えてくださった英会話スクールや担当してくださった学校の先生、友人、そして家族のおかげであり、ロサンゼルスで素敵な経験ができたのは、LANSCAの皆様、ホストファミリー、派遣生、名古屋市の職員の皆様、引率の先生の支えがあったからです。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

この経験を生かして、来年の留学生の受け入れの際ホストとして名古屋ならではのおもてなしをしたいと考えています。そして、留学という貴重な経験を最大限に生かして、視野を広く持ち、今後の自分の人生、将来の夢に向けて日々前向きに進んでいきます。

How American students spend their time after school and on holidays

Misato Takagi, Nagoya City Kikuzato High School
Briana Morales, Homestay high school student

1. Introduction:

As I do everyday, I go to club activities after classes and go to cram school after club activities.

During my time in America, I was interested in learning about how American students spend their time after school and on holidays. By examining this, I hoped to find some differences between how they deal with their studies and their club activities.

2. How to spend their time after school:

[Extracurricular activities]

I had the opportunity to visit a local high school. Japanese high school club activities normally continue in the same activity until students retire during their 3rd year, but the club activities in American high schools change according to the seasons.

It seems like there are more club activities here than in Japanese high schools. They even have cheerleading clubs at public high school. There are also watersports clubs; these are rare in Japan. Also, there is a unique club activity called Nintendo Club. The activity days and activity times are different depending on each club activity. By the way, the art school my host sister attends only offers fencing for sports activity, so she usually goes to a boxing gym for exercise.



Cheerleading practice experience

[Study]

Japanese students often attend cram schools, but in America students more often hire a tutor. However, there is a cram school here in Koreatown. From seeing this, I have come to realize that going to cram school is unique to Asian cultures.

[Other]

American schools normally do not have school uniforms. As is the case, my host sister's high school doesn't have uniforms, but they do have school T-shirts. Therefore, as in Japan, where you often see many students after school in their uniforms, here, you rarely see such things. I envy them because they can wear what they want to wear to school. I think that is a good thing. But it seems that some American students are attracted to having uniforms which are differentiated by school. When I showed my high school sailor uniform to my host sister, she said, "It's cute," enviously.



Linda Marquez High School

3. How to spend holidays:

From my impression of the whole town, there are more cafes there than in Japan. If you go to nice cafes in Japan usually you'll have queue, but here you can enter without having to worry about lining up. Sometimes after having breakfast in a cafe, I could meet my friends afterwards. I think that this is not so common in Japan.

There is not much of a difference in how people spend their leisure time from that of people in Japan. They usually go shopping and/or go out to eat with their friends. Something I feel is distinctive and unique about the United States is that they have more get-togethers and parties with their families and sometimes at school. The fun-filled free time that everyone enjoys is very good. It seems that they really know how to enjoy themselves and the atmosphere. Nowadays it seems that even introverted Japan is gradually adopting such a way of being.

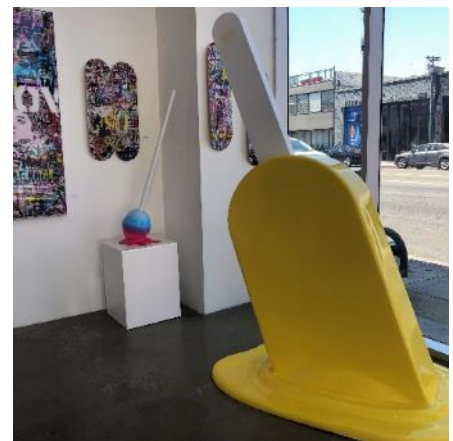
Especially in American high schools, there is a formal dance party called "Prom" which is held mainly as a graduation event. I thought that this is a very interesting event.

Popular places in Los Angeles:

Luckily I had a chance to be taken to a place popular among young girls in Los Angeles called Melrose. This was one of my favorite places during my stay. In the colorful city, there are numerous clothes shops, cosmetic shops, cafes and so on. The streets were crowded with trendy girls. It reminded me of Harajuku in Japan, but it is not as crowded as in Harajuku, so you can relax. Also, I noticed there were many Japanese tourists. It seems to be popular among Japanese people.



Melrose city rental scooters



Free time:

In Japan, children are prohibited from going out after 11 pm as stated by the Aichi Prefectural Ordinance of Juvenile Protection.

In Los Angeles, there do not seem to be such regulations established, so it is very common to go out eating, drinking, and shopping late at night. The shops themselves seem to have longer hours than in Japan.

Means of transportation:

I was surprised that my host sister was able to drive. That means, she has a driver's license.

In America, you can get your driver's license from sixteen years old.

Basically, America is a car society (so that is why there are traffic jams everyday). Subways and buses are considered to be more dangerous from a security point of view, so that is why they mainly use cars for their transportation.

Even high school students normally drive their cars to school, and they drive their cars during holidays for shopping, etc. So it seems using cars are already part of high school students' lives. I also had the chance to drive around, as a passenger, with my host sister.



Host sister's car

In Japan, I always use public transportation (subway and bus, etc.) to go to school and get around. So I was surprised to be able to drive with somebody who is the same age as me, and this allowed me to notice the difference between our countries' systems.

Participating in summer school at UCLA during summer vacation:

I attended a lecture to learn what is necessary to become a better presenter. Students of various age were in attendance, and I even noticed some younger students, possibly junior high school students. Everyone was exchanging their opinions freely. I thought that this approach is unique to the United States, where everyone puts more weight on humanity than academic ability.



It seems that American students do more volunteer activities and attend various seminars outside of school because there is more value placed on humanity when considering entering a university.

4. Conclusion:

Compared to Japan, there are many types of club activities in the USA, so it seems easy to find what you want to do.

I felt that American students usually learn at their own pace what they want to learn, and rather than going to cram schools in groups, they can hire tutors individually.

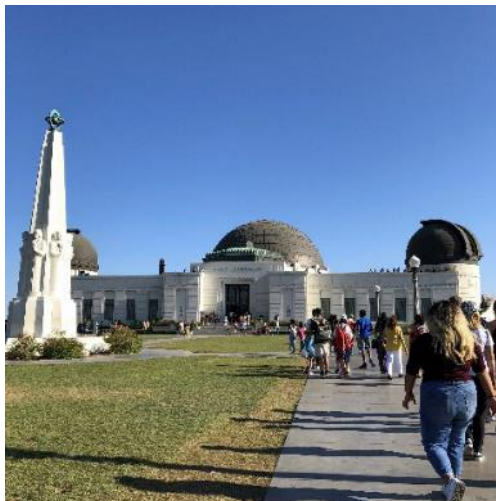
From the fact that junior high school students participate in the university summer school, it seems evident that American students choose to learn for themselves other than what they are just given.

I also feel that it is necessary for Japanese students to not only study textbooks but also to increase opportunities to participate as volunteers and join seminars so that they can broaden their future perspectives.

5. Other experiences:



Hollywood tour



Griffith Observatory



Host brother high school tour



UCLA experience

6. Overall impressions:

In America, there are many things that cannot be experienced in Japan, so there were a series of surprises for me. Though there were many things that I thought should be channeled from the United States to Japan through dispatch programs, on the other hand there are many things that I think Japan should be proud of.

In the United States, the number of meals and the amount of food eaten is so large, so the amount which is discarded is quite large correspondingly. Also, I did not notice Americans separating garbage that much like people do in Japan. After seeing this, I thought that Japan's "spirit of conserving" (not wasting things) and their devotion to separating garbage is wonderful.

Before going to Los Angeles, I thought that there would be mostly white people in Los Angeles, but when I actually went there, I saw many Latin and Asian people everywhere. When I did see a lot of white people, it was at theme parks, etc. My host family was from El Salvador, so I was able to eat breakfast and sweets from El Salvador, as well as listen to Spanish music. To be honest, if I had not encountered my host family, I probably would have never experienced El Salvador culture, and wouldn't even know the name El Salvador as a country in my life. I think the reason I can have such a unique experience is because Los Angeles has such a diverse multicultural atmosphere.



El Salvador style breakfast

Finally:

Since I have only lived in Japan, having a homestay in a foreign country for two weeks was a huge challenge. The reason I can participate in this exchange program is because of the English conversational school support, the school teachers in charge of my school, my friends, and my family. As for the reason I can have such a nice experience in Los Angeles, it is due to the support of everyone at LANSCA, my host family, my fellow dispatched students, all the staff of Nagoya city, and the dispatch chaperone teacher. I want to say thank you to everyone, I'm really thankful for all they have done.

I hope to take advantage of this experience and be able to share a unique hospitality of Nagoya as a host when accepting foreign students next year. Studying abroad has giving me a broader perspective, and I hope to take full advantage of the valuable experiences. With all this I will proceed positively every day toward my future life and future dreams.

LA と名古屋の高校生の生活の違い

名古屋市立名東高等学校 濱崎 蒼生
交歓高校生 ヤニ マルティネス

☺ はじめに

僕は小学生の頃からアメリカに行きたいと思っていて、特にロサンゼルスには強いあこがれがありました。ホームステイもしたことがなかったので興味がありました。また父の仕事の都合でヨーロッパに住んでいたの、ヨーロッパとアメリカと日本とではどのような違いがあるのかということも知りたいと思ったので今回この派遣事業に応募しました。尚このレポートテーマにした理由は同じ高校生でもLAと名古屋でどのような生活の違いがあるのかを調査しようと思ったからです。

1. 平日・土日の過ごし方

今回はホストブラザーのヤニに焦点を当ててまとめてみました

平日	
① 学校は何曜日から何曜日まで？	月曜～金曜だよ
② いつも何時に学校に行くの？ 何時まで授業？	7時半までにはいないといけないんだ。 朝ごはんは学校が提供してくれるよ。2時半まで授業だよ
③ どうやって学校に行き来してるの？	歩きかバスかな。日によって変わるよ。 家から学校が近いから歩きが多いかな。
④ 一日何クラス授業？	四クラスだよ。一クラス 90 分だから長いんだよね（泣）。
⑤ 昼ごはんはどうするの？	学校にあるカフェテリアで食べる。 家から持っていったりはしない。
⑥ 部活はなにをしてるの？	ブラスバンド部に所属してるよ。サックス担当だよ。 放課後に 2 時間ぐらい練習するよ。
⑦ 学校から帰ったら何をしてるの？	宿題が多いから宿題を優先してしてるよ。 基本的に帰ってきたら外出はしないかな。

名古屋との違い ✓朝ごはんを学校が提供 ✓一クラス 90 分なので長め
名古屋との共通点 =学校が月曜から金曜 =宿題

土日	
① 習慣にしていることはある？	土曜日はお母さんと大掃除をするよ。 日曜日は朝ごはんを家族で食べに行って、そのあとチャーチに行くよ。チャーチは 11 時半から 1 時半までするんだ。
② 他には何をするの？	時々家族や友達と外出するよ。家族と行くときは遠くまで行けるけど、友達と行くときはあまり遠くまではいけないね。家に友達を呼んで遊ぶこともあるよ。 遊ぶ用事がないときは宿題をしているよ。

*チャーチとはキリスト教信者が毎週日曜日に教会で礼拝をすること

2. 食事について



ヤニとヤニの家族はメキシコ系なので、夕食や間食はメキシコ料理が多かったです。おばあちゃんがよく手作りタコスを作ってくれました。ヤニの家は普段は午後3時ぐらいに夜ご飯を食べるらしいのですが僕に合わせてくださり、夜9時ぐらいに作ってくださいました。

①は、メキシコのスーパーに連れて行ってもらった時に飲んだものです。量がとても多くてバケツぐらいの大きさがありました。スイカ水でとても甘かったのですがそれは自然の砂糖だと言われました。お母さんがすぐに飲み干していてびっくりしました。「いつもここに来ると飲んでいる」と言っていました。

②は、屋台で買ったタコスです。肉の種類を選び、そのうえに好みで野菜を乗せるというスタイルでした。家に近いところにいつもあるらしいので、よく利用すると言っていました。

③は、リトルトーキョーで食べた天井です。ニンジンやズッキーニが揚げてあったりと、日本では見ることもない組み合わせが面白いと思いました。

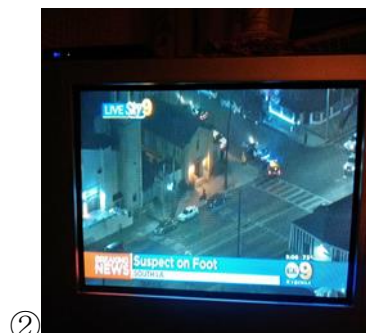
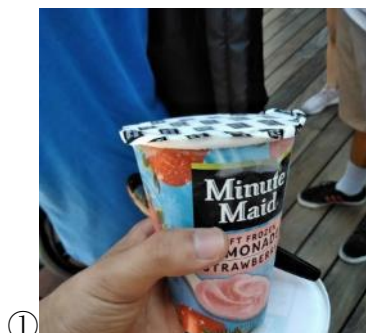
3. ホームステイをされていて

ヤニの家族はメキシコ系なので、いつもスペイン語で会話をしていました。ヤニと妹しか英語を話せなかったのが、僕が両親と話すときはヤニが通訳をしてくれました。なので僕は簡単なスペイン語【おはよう等】を覚えてもらい簡単なコミュニケーションをしました。とても面白い体験でした。またキリスト教徒なので家族全員でご飯を食べる前は『アーメン』と言っていました。そしてところどころに聖母の像が飾ってありました。とても宗教を大切にする家族なんだなと思いました。

生活面では何の問題もなく、家族の一員みたいに過ごしてねと言われてとてもうれしく感じました。とても清潔な家で日本と同じで家に入るときは靴を脱いで入りました。また毎日シャワーに入らせていただきとてもありがたかったです。そしておばあちゃんが次の日に着る服をアイロンをかけてくださってきれいな状態で服を着ていくことができました。洗濯も毎日してくださって着るものに困ることもありませんでした。

ヤニはとても家族を大事にされていて、家族と約束したことはなんでも守り、心配をかけるようにいつも電話で所在位置を言っていました。見本にしたいぐらい親孝行な人でした。ぼくはとても良いホストファミリーに恵まれてとても嬉しく感じています。

4. 驚いたこと



④写真なし

①は、アイスクリームなのですが日本の爽の2倍ぐらい量があって、ホストブラザーに量が多いねと言ったら「それはSサイズだよ」と笑われました。僕は量が多いと感じて残してしまいました。

②は、ニュースを見ていたら突然中継でカーチェイスが始まって、犯人を確保する瞬間まで放送していました。日本ではあまり見ない光景だったのでびっくりしました。

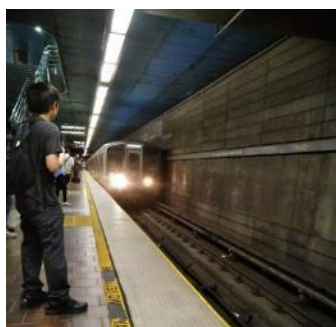
③は、映画館で映画を見た時の写真です。日本だと映画の上映中は大きな声で話したりすることはできませんが、ここでは観客が上映中に歓声を上げたり拍手をしたりなど、スポーツ観戦をしているみたいで楽しかったです。

④は、写真はありますが、とても驚いたことがありました。それはカリフォルニア州では16歳以上から運転免許を取得できるところです。他のホストシスターも運転ができて、その車に乗せてもらいました。同じ高校生なのにもう運転をしていて驚きました。高速道路なども走っていて、冷静に運転していたので自分たちにはまねできないなと思いました。また一人のホストシスターは学校に自分で運転していったりや、友達を乗せて遊びに行くなど、とても慣れた様子でビックリしました。

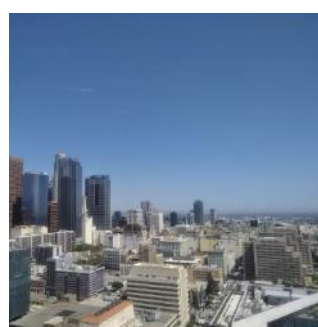
5. LA 滞在中の思い出 (写真)



ヤニの学校のグラウンド



地下鉄にて



市役所からの景色



高校の体育館



US ハリウッドにて



サヨナラパーティーにて

6. その他

行く前に予想していたことと違ったことをまとめました

	予想	実際
交通	車の道路は発達しているが、電車の発達が遅れている。	車の道路は発達していて、更に電車も路線も多くて、地下鉄に加えメトロまで走っていてすごく発達しているように感じました
人々	ネイティブアメリカンの人のほうが全人口に占める割合が大きい	スペイン語を話す人が多くキリスト教の文化が各地で共存している。
物価	全体的に高い	観光地はどれも高いが、普通のスーパーなどは日本とさほど変わらないように感じた。

7. 最後に

今回の滞在では憧れの LA で貴重な体験ができてとても感激です。二週間という短い期間でしたが、得たものは人生の中でもきっと多くを占めるでしょう。何かの縁があって一緒になった仲間もとても大切な存在です。この関係が長く続けばいいなと思っています。また僕のホストファミリーに感謝をしています。毎日洗濯をしてくださり、シャワーも入らせてくれたりなど、とても手厚く世話をしていただけてとてもうれしいです。おばあちゃんが毎日次の日に着ていくものにアイロンをかけてくれたのが、ここまでしてもらっていいのかなと思うぐらい嬉しかったです。忙しくてあいさつ程度しか交わさなかったそのおばあちゃんが日本に帰るときに、泣きながら見送ってくれたことがとても印象に残っています。僕もその場で泣いてしまいました。

また滞在をして分かったのが英語の会話の経験不足でした。僕は単語の勉強や文法の勉強はもちろんなこと、もっと英語を日常的に話して経験値をもっとたくさん得るべきだと思いました。LA で学んだことをこれからの学校生活、また将来就く職業にたくさん活かしていきたいと思います。

最後にこの二週間でたくさんの良い経験と感動をいただいたことに心から感謝しています。名古屋市観光推進課や LANSICA の皆さん、家族のように世話をいただいたホストファミリーの方々、そして一緒にこの滞在を満喫した7人の仲間と先生に多大なる感謝をしています。本当にありがとうございました。

Lifestyle differences between L.A. and Nagoya high school students

Aoi Hamasaki, Nagoya City Meito Senior High School
Yani Martinez, Homestay high school student

😊 Introduction:

I wanted to go to America ever since I was an elementary school student. I especially longed to visit Los Angeles. My interest was shaped by the fact that I have never had a homestay experience. Also, since I lived in Europe due to my father's work, I wanted to learn about the differences between Europe, America and Japan. It was with these curiosities that I decided to apply for this exchange program. The main reason for choosing this report topic was because I was planning to investigate what lifestyle differences existed between L.A. and Nagoya for an individual high school student.

1. How to spend weekdays / weekends:

This time I focused on my host brother Yani's lifestyle as we lived together.

	Weekday
1 What days of the week do you attend school?	It's Monday to Friday.
2 What time do you usually go to school? Until what time is class?	I have to be at school by 7:30 am. Breakfast is provided by the school. Classes finish at half past two.
3 How do you go to school?	Usually I walk or go by bus. It depends on the day. But since the school is close to my home, I usually walk.
4 How many classes a day do you have?	Four classes. Each class is 90 minutes long. It's quite long (mimics crying).
5 What do you do for lunch?	We eat lunch in the school cafeteria. I don't have to bring lunch from home.
6 What is your club activity, or extracurricular activity?	I belong to the brass band. I'm in charge of the saxophone section. We practice about two hours after school.
7 What do you do after school?	Since I usually have a lot of homework, I focus on finishing my homework. Basically I don't go out again after I get home.

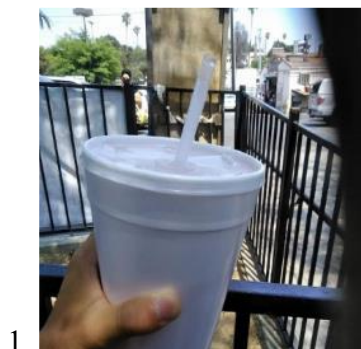
Differences from Nagoya: - The school offers breakfast. - One class is 90 minutes, so it's longer.

Common points with Nagoya: - School is from Monday to Friday. - There is homework.

	On weekends
1 Do you have any routines on weekends?	I help my mother clean the house on Saturday. On Sunday I go out for breakfast with my family, and then we go to church. Church service is from 11:30 am to 1:30 pm.
2 What else do you do?	Sometimes I will go out with my family, or with my friends. When I go out with my family we sometimes go on a trip, but when I go out with my friends we hang out nearby. Sometimes I call my friends over to my home to hang out. If I don't have any specific plans I usually just do my homework.

* Church is a place where Christian believers go to worship every Sunday

2. Meals:



Because Yani and Yani's family are Mexican-Americans, there were many Mexican dishes served for meals and snacks.

Yani's grandma often made homemade tacos. Their family usually eats dinner at about 3 pm, but they adapted this time for me and made it around 9 o'clock in the evening.

1 - I drank this when I was taken to a Mexican supermarket. The size of the drink was so large that I thought it was the size of a bucket. It was sweetened with natural watermelon juice and I was told that it is a natural sugar. I was surprised when Yani's mom drank it so quickly. She said "I drink this whenever I come here."

2 - These are tacos bought at a taco stand. I could choose the type of meat I wanted, and then add vegetable toppings as I liked. Apparently, there have always been taco stands near the house so they often frequent these shops.

3 - This is a bowl of tempura and rice that I ate in Little Tokyo. The rice is topped with deep-fried carrots and zucchini. I thought it was interesting because these toppings are typically not seen in Japan.

3. Homestay experience:

Yani's family is a Mexican-American family, so they always talked in Spanish. Only Yani and his sister could speak English, so Yani interpreted when I wanted to talk with his parents. Therefore, I was able to learn some simple Spanish [Good morning, etc.], and was able to communicate with these simple phrases. It was a very interesting experience. Also, since they are a Christian family, they said "Amen" before eating each meal with the whole family. There were "Our Lady" statues in various places around the house. I got the feeling that their family values religion very much.

I had no problems with their lifestyle and I felt very pleased, especially when they said, "Please make yourself at home in our house." When I entered the house I noticed how clean it was, so like in Japan, I took off my shoes and entered. I was very thankful to be able to take a shower every day. Also, my clothes for the next day were always ironed by Yani's grandmother, and I never had to worry about my clothes because they did laundry every day.

Yani really seemed to cherish his family very much. He always kept his promises to his family, and so as not to worry them he always remembered to telephone them to let them know where he was. I felt Yani is a very responsible and considerate son who was a good example, and I would like to learn from him.

I am very glad I was blessed with the experience of living with such a nice host family.

4. Surprising things:



4 No Photos

1 - This is ice cream, but when I told my host brother that it was twice the size of servings in Japan, he laughed, and said, “It’s only a small size.” I felt that the amount was too much for me and couldn’t finish it all.

2 - When I was watching the news, suddenly there was a live broadcast of a car chase with the police which ended with them catching the suspected criminal. I was surprised because this is something that we don’t see much in Japan.

3 - This is a picture of us at a movie. In Japan you’re not supposed to speak loudly during the movie, but here the audience cheered and applauded during the movie like watching a sporting event. It was quite fun.

4 - There is no picture for this one, but I was very surprised by this. In California you can get your driver’s license from the age of sixteen. Yani’s sister was able to drive, and I got to drive with her. I was very surprised to be driving with her because she is just a high school student like me. We also drove on the highway, and I was so surprised at how calmly and naturally she seemed to drive. I thought I could not imitate her at driving so calmly. Also, the other host sister was allowed to drive herself to school, and she also goes out driving with her friends. I was very surprised to see how used to it they were.

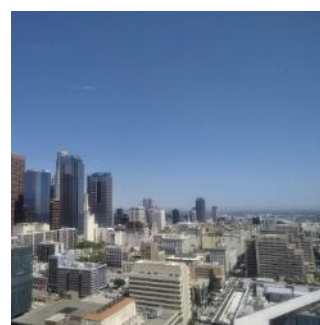
5. Memories during my stay in L.A. (photos):



Yani's school ground



At subway



Scenery from City Hall



At the high school gym



At US Hollywood



At a farewell party

6. Other topics:

I summarized what I anticipated before going and the actualities / differences.

	Expectation	Fact
<u>Traffic / Public transportation</u>	The roads and highways are well developed, but the development of the train is a bit behind.	The roads and highways are well developed, and there are many trains and routes. There are both subway and Metro train lines, and I felt that they were developed beyond my expectations.
<u>People</u>	Native American people account for a larger proportion of the total population.	There are many Spanish speaking people coexisting with Christian cultures in various regions.
<u>Costs</u>	It is overall expensive.	The sightseeing spots are expensive, but I felt the ordinary supermarkets are not so different from Japan.

7. In conclusion:

I am deeply moved by my treasured visit to L.A. where I was able to have such valuable experiences. Even though it was only a short two-week stay, what I obtained from the experience will probably influence me a lot in my life. Something, perhaps fate, which brings us together as friends, I feel, is very important. I hope these relationships will continue for a long time. Also, I am very grateful to my host family. I am very glad that they took care of me with such dedication, such as doing my laundry every day and allowing me to take a shower every day.

My host family's grandmother was so thoughtful. I truly appreciated that she ironed my clothes for the next day every day.

Although, we usually only greeted each other due to her being so busy, I was very moved that she cried when I departed back to Japan. It was an unforgettable moment. Of course, I also cried on the spot.

Another thing I noticed is that my English conversation experience was lacking. Of course, studying vocabulary and grammar are important, but also I realized that by talking in English everyday will allow me to acquire many valuable experiences. I would like to take advantage of my experiences in L.A., and apply them to my school life in Japan and possibly in my future occupation.

Lastly, I am sincerely grateful for having had so many good experiences and for being deeply impressed during those two weeks. I am very thankful to all the members of the Tourism Promotion Division, the City of Nagoya and LANSKA, the host families who took care of me like I was family, also to my seven fellow homestay and delegate students, and the teachers who enjoyed this stay together. Thank you all so very, very much.

派遣事業を振り返って

Looking back on the exchange program

「第 29 回ロサンゼルス交歓高校生派遣事業を振り返って」

名古屋市立向陽高等学校 教諭 森岡 孝子

平成30年7月23日から8月7日までロサンゼルス交歓高校生派遣事業の引率者として名古屋市を代表する生徒4名と共に約2週間、ロサンゼルスで有意義な体験をさせていただきました。

4名の生徒たちは、前年度名古屋市でホームステイをしていたロサンゼルスの生徒宅にそれぞれお世話になり、私自身も昨年度引率者として名古屋市に滞在された Wendy Monroy 先生のお宅にホームステイさせていただきました。私たちの滞在が快適で素晴らしいものとなりましたのは、ホストファミリーの方々の温かい心遣いのおかげです。

滞在中、LANSCA の皆さんによって企画されたプログラムにそって活動しました。様々なアクティビティが、ロサンゼルスの魅力を知ることができるだけでなく、知的好奇心を刺激される内容で構成されており、この事業に関わった方たちのご尽力・ご厚意に敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

以下、日程・行事ごとに今回の派遣事業を振り返りたいと思います。

□ 事前研修会・名古屋市役所表敬訪問

7月8日、派遣団が初めて集まりました。自己紹介やそれぞれの抱負などを語り、現地での研究テーマや、パフォーマンスなどの企画を立てました。また、旅行の手続きや注意事項の説明のほか、前回の派遣生徒にも研修会に参加してもらい、前年度の彼らのロサンゼルスでの活動を紹介してもらいました。そのおかげで、今回のステイの内容をより具体的にイメージできるようになりました。

7月20日名古屋市役所表敬訪問で観光交流部部長近藤善紀さま、国際交流課長栗原英郎さま、教育委員会指導室主事伊藤正規さまにお目にかかりました。名古屋市とロサンゼルスとの姉妹都市の交流が60年にも及ぶこと、名古屋市はロサンゼルスの、ロサンゼルスは名古屋市の初めての姉妹都市であることなどをお聞きし、この事業の歴史を感じるとともに、今回派遣される意味と責任を再認識しました。

□ ロサンゼルス到着・ホストファミリーと初対面

セントレア発のフライトの出発が遅れたため、成田での乗り換えが駆け足となったハブニングがあったことと、パスポートの有効期限が6ヶ月未満であったため、入国審査の際に多少手間取ったことを除けば、旅程は順調でした。空港ではホストファミリーのかたがたがポスターや歓迎グッズを手に、笑顔で待っていただきました。緊張した面持ちの生徒たちもすぐに打ち解け、賑やかな談笑や写真撮影を終えたあと、それぞれがホストファミリーと共に各家庭へと向かいました。

□ 高校体験・UCLA 大学体験

7月25日から27日の3日間、UCLA で CAPA (Career and Academic Preparation Academy)に参加させていただきました。これは、本来有料プログラムで、各地から参加希望の生徒が集まり、キャンパス内の宿泊施設に2泊3日で滞在し、自分たちの進路を考えるきっかけとなるような講義を聴いたり、自己表現やプレゼンテーションのノウハウを学んだり、トレーニングをするワークショップです。今回は、その一部に参加させていただいたわけですが、内容の濃い、興味深いプログラムでした。近年の英語教育で重視されつつあるプレゼンテーションやエッセイライティングを指導する授業があり、個人的には一部参加ではなくフル参加をしたいところでした。UCLA の美しいキャンパスを散策できたり、食堂を利用させてもらえたりと個人旅行ではなかなかできない貴重な体験となりました。このプログラムの最終日に、日本人生徒たちが準備していたパフォーマンスを他の参加者に披露しました。スイカ割り・福笑い・二人羽織などの日本のゲームを体験してもらい交流を楽しみました。最後は一本締めで終了し、会場が一体感に包まれました。余談ですが、我々の持ち込んだこのスイカ、参加者に大人気でした。参加者全員がグループ毎に記念写真を撮ったのですが、その際、各グループの写真の中央にこのスイカがまるのまま生徒たちに抱えられて写っています。

高校体験としては、7月26日に Linda Marquez High School へ、8月1日に Eagle Rock High School を訪問させていただきました。Linda Marquez High School では生徒たちのブラスバンドの演奏で、Eagle Rock High School ではチアリーディングの演技で歓迎していただき、大変楽しい時間を過ごしました。どちらの学校も、グラウンドが青々とした芝で覆われており、スタンドの施設をもっていました。体育館も複数あり、日本の一般的な学校のつくりとはずいぶん違うものでした。

□ 市役所表敬訪問

7月31日、City Hall を訪れました。裁判所や LA 市警など、行政機関が集中しているエリアの中心部にあり、City Hall の展望台からそれらが一望できます。ホールの天井は高く、重厚な雰囲気醸し出しており、歴史を感じさせられました。名古屋から贈られたが記念品が展示されており、名古屋とロサンゼルスとの繋がりを実感しました。

□ ロサンゼルス市内見学

到着翌日はホストファミリーとの自由時間でしたので、その翌日、7月25日に Hollywood&Highland の探索をしました。Chinese Theater や Kodak Theater、The Walk of Fame などの有名な観光スポットを巡り、写真を撮り、本部に送り、課題を早くクリアしたチー

ムが優勝するというアクティビティを楽しみながらの市内見学でした。その後、El Capitan Theater にて映画を見ました。映画の聖地 Hollywood での映画鑑賞というわくわくする体験でした。

7月31日、ロサンゼルス市役所表敬訪問後にはダウンタウンを散策しました。Little Tokyo でランチをとったあと、全米日系人博物館を訪れました。こちらでは日本人のガイドさんが日系人の苦難の歴史や文化を説明してくださいました。この施設は、ロサンゼルスを訪れる日本人なら是非とも訪れて欲しい施設です。また Universal Stadium Hollywood でロサンゼルスの生徒たちと親交を深め、グリフィス天文台、California Science Center、NASA の Jet Propulsion Laboratory を訪れ、ロサンゼルスの Science frontier の一面を感じました。



8月14日帰国前日にさよなら会を開いていただきました。ホストファミリーの方々による持ち寄りの料理はどれも大変おいしく、アメリカのホームパーティーを楽しみました。生徒たちはダンスや楽器演奏などを披露し、場を盛り上げてくれました。ディクソンペリー氏がこのステイ中の写真を編集してくださり、そのスライドショーを見ながらロサンゼルスの生徒たちと日本の生徒たちがそれぞれ今回の交流をとおして得たものを語り合いました。

若い生徒たちが、この交流・経験を通して学んだものは計り知れないものだと思います。言葉・食べ物・習慣、あらゆることが自分たちのそれと違うこと。その違いをもどかしく感じつつもお互いの理解へと努力することの大切さやその思いが通じたときの感動が彼らの収穫ではないでしょうか。彼らがこの経験をスタート地点とし、さらに「自己表現」や「多様性に対する寛容」などを育み、大きな影響力となってくれることを願ってやみません。

この交歓高校生派遣事業は多くの方々の善意とご尽力によって運営されています。今回のこの派遣事業が無事に、そして成功のうちに終了しましたのも、LANSCA の方々を始めホストファミリーの方々、名古屋市国際交流課や教育委員会の皆様のご支援、ご協力がなければなしえなかったでしょう。重ねてお礼申し上げます。

Looking back on the Exchange Program

“Reflections on the 29th Nagoya - Los Angeles High School Exchange Student Program”

Takako Morioka, Teacher at Nagoya City Koyo Senior High School

From July 23rd to August 7th, I had a memorable experience in Los Angeles as a chaperone for the four exchange students representing Nagoya during the Nagoya-Los Angeles High School Exchange Student Program.

To begin, the four students had homestays with families whose children had previously had homestays in Nagoya. During this time, I had the pleasure of staying at the residence of Ms. Wendy Monroy, the former chaperone for the Los Angeles exchange students in Nagoya last year. It is thanks to the warm hospitality of our hosts that we were able to have a comfortable and wonderful stay in Los Angeles.

During our stay, we participated in programs and events organized by LANSCA. The various activities aided in familiarizing us with Los Angeles. However, the content of the activities did especially well in sparking our curiosity to learn more about the city. I would like to personally express my gratitude for the generosity and efforts put forth by everyone who were involved in this program. Below, I will reflect on this program by touching on each scheduled activity and event we participated in.

Pre-workshop/ Official visit to the Nagoya City Hall

On July 8th, the student exchange program delegation assembled for the first time. To start, we introduced ourselves to each other and discussed about what we hoped to do during the program as we began to make plans for developing topics to research and performances to showcase in the future. We continued by working out the finer details regarding the trip. We also asked students who previously participated in the program to take part in the workshop in order to share their stories about their experiences in Los Angeles during the exchange program. The workshop helped me more clearly imagine how my time in Los Angeles would be.

During our official visit to the Nagoya City Hall on July 20th, we met Mr. Kondo, Mr. Kuwabara, and Mr. Ito. We learned that the sister city affiliation between the City of Nagoya and Los Angeles has been around for the past 60 years and that Los Angeles is the first sister city of Nagoya. I truly felt the historical relevance this project held. I also further realized the meaning and the responsibility behind this exchange program.

Arrival in Los Angeles/ First time meeting the host families:

Everything went according to plan aside from two issues. The first issue was that we had to rush in order to catch our flight from the Narita International Airport due to our flight from Chubu Centrair International Airport being delayed. The second issue was that we had some difficulty getting through immigration. The reason was that one of our passports was set to expire within 6 months. That being said, at the airport, our host family members were waiting for us with smiles and welcoming signs. At first, the students seemed to be nervous, however their nervousness quickly dissipated and chats and group pictures quickly ensued. After our time together at the airport, we all separated and went home with our own respective host families.

High School Experience/ UCLA University Experience

We participated in CAPA (Career and Academic Preparation Academy) at UCLA for three days (July 25th to 27th). This is a program in which students from various regions pay to participate. The program includes accommodation on campus for 2 nights. During the program, students attended lectures that helped facilitate an opportunity to think about their future paths, help them learn about various presentation tips, and help allow them to practice how to become better presenters. Even though we only participated in part of the program, the program was most informative and intriguing. There was a class which taught us how to better teach how to present and write essays. Since these aspects of English education has received more weight in recent years in Japan, I personally wanted to participate in all of the lectures as opposed to only some of them.

Moving on, we had many precious experiences such as: walking around the beautiful campus of UCLA, eating at the cafeteria on campus, and so on. I would find it quite difficult to have such experiences if I tried to travel on my own. On the final day of this program, we held a performance for everyone to enjoy. We enjoyed introducing various aspects of Japanese games such as: Suikawari (splitting watermelons—a traditional Japanese game that involves splitting a watermelon with a stick while blindfolded), Fukuwarai (Lucky Laugh—a traditional game played on New Year's Day in Japan which is similar to pin the tail on the donkey, but instead involves pinning parts of a face onto a blank face), Nininbaori (Helping Hands comedy performance in which one person wears a haori coat on his/her shoulders while another person standing behind puts his/her arms through the sleeves of the coat and tries to feed the person in front), among others.

In the end, we finished the performance with Ippon-jime (three sets of claps with a final clap), which helped create a strong sense of unity between everyone. That being said, it seems that the watermelon was the most popular part of the performance. Everyone took a commemorative photo of each other, however the watermelon became the main feature because the watermelon was held in the center of each picture.

During our high school experience, we visited Linda Marquez High School on July 26th and Eagle Rock High School on August 1st. At Linda Marquez High School, the students welcomed us with their brass band, whereas the students at the Eagle Rock High School welcomed us with their cheerleading squad. Both schools had a large, expansive area covered in lush turf that was even surrounded by bleachers for spectators. There were also several gymnasiums, which is quite different from common schools in Japan.

Official Visit to the City Hall:

On July 31st, we visited the City Hall. It is located in the center of downtown Los Angeles where there are various kinds of administrative agencies such as: judicial courts and the LAPD (Los Angeles Police Department). They can all be seen from the observatory deck of the City Hall. The ceiling of the city hall is quite expansive. It helps create a rich atmosphere and helps one feel how historic the city hall is. Memorial items from Nagoya were on display. Seeing them made me further realize the connection between Nagoya and Los Angeles.

Los Angeles City Tour:

The day following our arrival to Los Angeles was a free day to spend with our host families. The next day, the 25th, we explored Hollywood and Highland. We took a city tour which brought us to famous sightseeing spots such as: the Mann's Chinese Theater, Kodak Theater, and the Hollywood Walk of Fame. While enjoying the sights, we participated in a friendly competition between each other. The game was that the team that took a picture of the sightseeing spots and sent them to the head office of LANSCA, and completed all of the tasks and riddles the quickest won. After that,

we watched a movie at the El Capitan Theater. It was an exciting experience to watch a movie in Hollywood where movies are revered so much. On July 31st, after our visit to the Los Angeles City Hall, we took a walk around the downtown area. After having lunch in Little Tokyo, we visited the Japanese American National Museum. There, a Japanese tour guide explained the history, culture, and difficulties Japanese Americans faced to us. I highly recommend that all Japanese people who visit Los Angeles should stop by this museum.

While at Universal Studios Hollywood, we were able to strengthen our friendship with students from Los Angeles. On top of that, we took the time to visit the Griffith Observatory, California Science Center, and NASA's Jet Propulsion Laboratory. I felt that I was able to deeply experience a part of Los Angeles' science frontier.

On August 14th, the day before our departure, we had a farewell party. All the dishes brought by the host families were very tasty. We truly enjoyed the American-style home party. The students danced and played music with their own instruments which made the event feel very festive. Mr. Dixon Perry edited the photos of our stay and made a slide show that we watched together. While looking at the slide show, the students talked about what they had learned through their experiences.

I think that what these young students learned through the interactions and experiences during this program is immeasurable. The language, food, customs, and everything are different from what they have commonly known in their everyday lives. It seems that the students recognized the importance of taking the time to make the effort to understand each other even if the many differences can be a bit frustrating at times. I am sure that the rewards of how they felt after they finally came to a better understanding between each other after all of their hard work will be a memory they will treasure. I truly hope that these experiences mark the beginning of their future development in "self-expression" and their "tolerance for diversity" towards their future.

The student exchange program was made possible thanks to the good intentions and the hard effort made by many people. It is thanks to the help of LANSCA, the host families, the International Relations Division and the Board of Education of the City of Nagoya, and more. I would like to once again wholeheartedly express my deepest gratitude for being able to take part in this once in a lifetime experience.

思い出の写真

Photos

ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



ロサンゼルス空港



UCLA



UCLA



UCLA



高校体験



ロサンゼルス散策等



ロサンゼルス市役所訪問



帰国前のお別れ



第29回ロサンゼルス交歓高校生派遣事業報告書

主 催：名古屋市

発 行：名古屋市